

いわみじ ことづて

石見路の言伝

第2号：平成30年7月9日発行
発行：島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
TEL 0852-36-8608
三隅益田道路発掘調査岡見事務所
TEL 0855-32-4175
FAX 0855-32-4176

島根県埋蔵文化財調査センターからのお知らせ



三隅益田道路建設に伴う発掘調査がスタートして約2ヶ月が経過しました。徐々に遺跡の様子が明らかになりましたのでご紹介します。

くろまわ いせき

【蔵廻り遺跡】(益田市西平原町)



昨年度の調査で確認した大きな遺構は、北側の岸が見つかり大きな川の跡であることがわかりました。川の中からは、戦国時代の陶磁器が見つかっています。



この川は、やがて水の流れが絶え、泥が堆積し周囲より一段低い窪地が出来ました。江戸時代になると、この窪地に石垣を築き棚田が作られました。

〈遺跡見学について〉

見学を希望される方は、事前に三隅益田道路発掘事務所(0855-32-4175)までご連絡ください。

お願い！！

発掘調査中の遺跡には、危険な場所がありますのでくれぐれも無断で立ち入ることが無いようお願いいたします。

ふ けんた とりであと
【普源田砦跡】 (浜田市三隅町岡見)



標高60m以上の丘陵上で発掘調査を行うので、発掘や足場の資材を運搬するのもたいへんです。そこで今回は、大型のラフタークレーン車で資材の運搬を行いました。



普源田砦跡には、3つの「郭」があります。地面を20cmほど掘り下げると岩盤を平らに削った面が出てきました。

城の東側は、「土塁」と「堀切」で敵の侵入を防ぎます。



郭で出土した戦国時代の陶磁器です。中国からの輸入品です。

★用語解説★

- 郭(くるわ) : 山頂を削平したり、傾斜面を削った土を低い面に盛り上げたりして造られる平場
- 土塁(どるい) : 土を突き固めたり削り残したりして築かれた土手
- 堀切(ほりきり) : 尾根筋に直角に掘り込んだ空堀(からぼり)